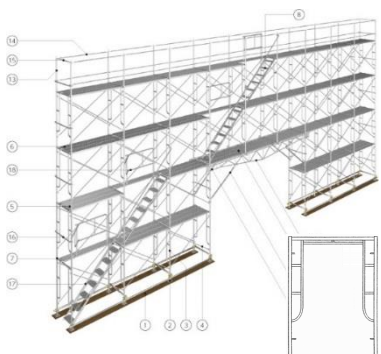


技 術 名 : 次世代足場 I q システム
NETIS番号 : HK-140003-VE

一般社団法人仮設工業会承認品

会社名 エスアールジータカミヤ株式会社
住 所 大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪タワーB27階
電 話 06-6375-3900(代)

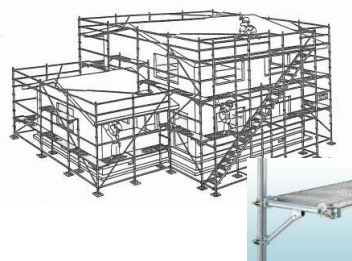
次世代足場とは？



中高層用

樫組(建樫)足場 通称：ビティ足場

1950年代、当時の日本人平均身長から階高1,700mmで製造され、その後50年以上規格変更されず流通し、現在も業界標準として使用されています。



住宅・低中層用

クサビ式足場 通称：ビケ足場

1980年代、住宅用足場として開発され、その後安全機能を充実させ、低中層用足場として普及しましたが、中高層においては堅牢性・素材重量で課題があります。

樫組(建樫)足場の堅牢性+クサビ式足場のシステム性

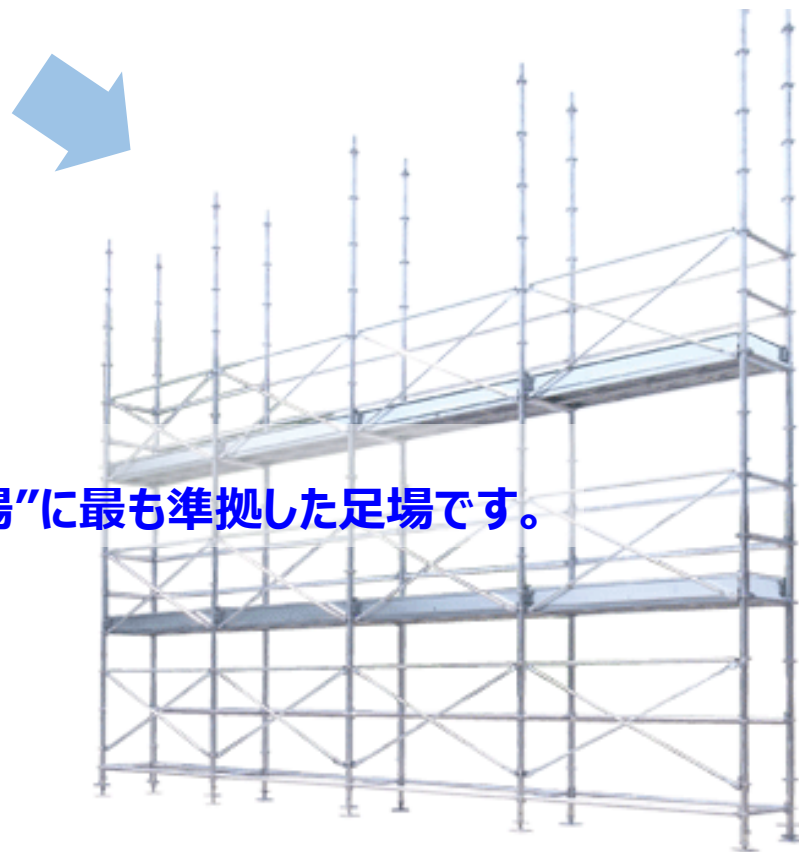
現行「安全衛生規則」(2015年改正)の“推奨足場”に最も準拠した足場です。

- 2000年以降、仮設機材主要メーカーが開発・製造を開始しています。
- 先行手摺を標準装備
- 樫組足場の堅牢性・・・高層における安全・安心性
- クサビ式足場のシステム性・・・保管・運搬効率のさらなる向上
- 素材改革・・・軽量化による架設解体作業性向上
- 階高1,800mm以上・・・建設作業員の生産性向上

全層対応

抜け止め機能付きシステム足場

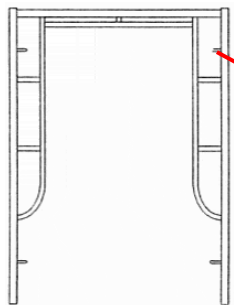
通称：**次世代足場**



I q システムの特徴①-1

階高1900mm

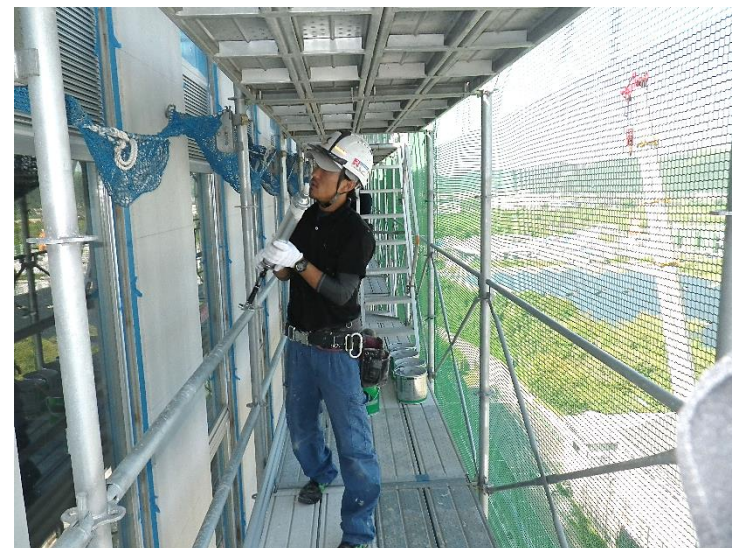
屈まず、頭をぶつけない快適な作業空間



補剛材がなく、
途切れのない
広い空間を確保



枠組(建枠)足場

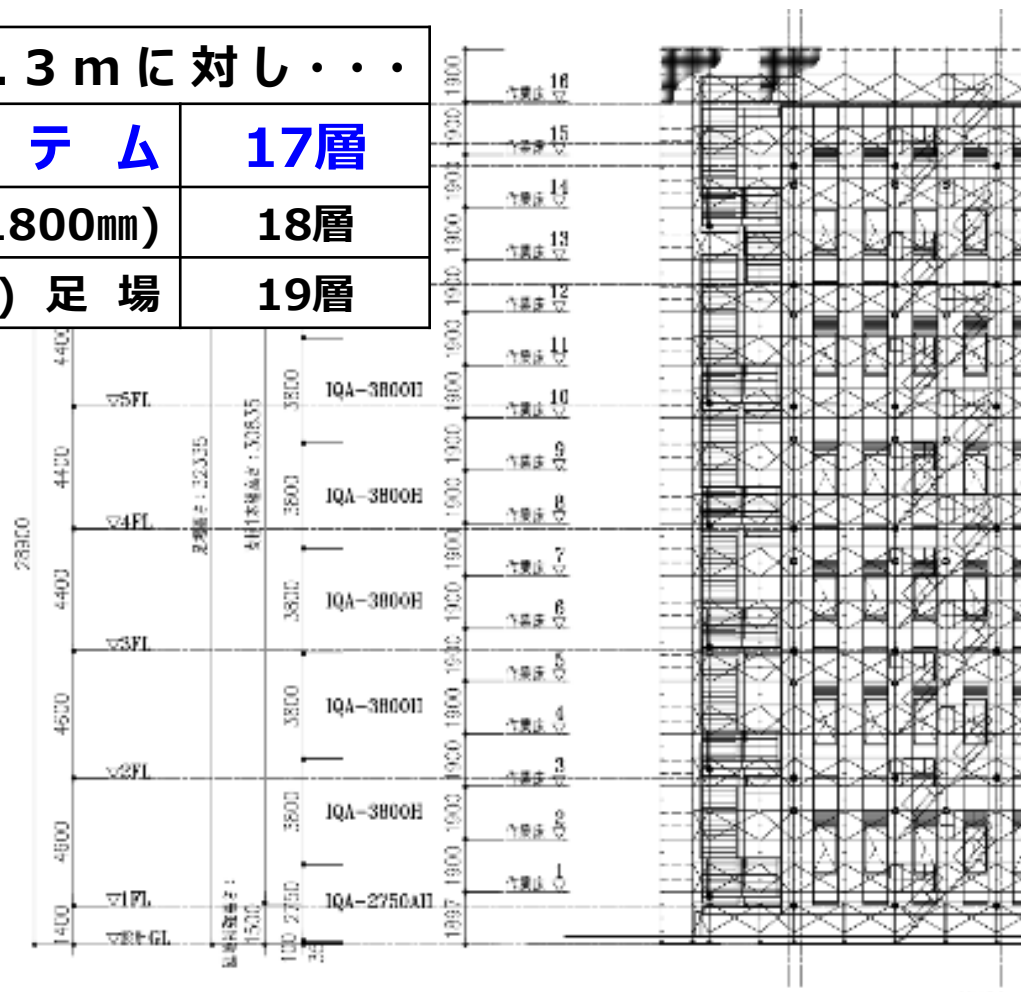


I q システムの特徴①-2

階高1900mm

階層減で足場架設作業効率・コスト効率向上
壁面工事の作業効率向上

足場高さ32.3mに対し・・・	
I q システム	17層
他社次世代足場(1800mm)	18層
枠組(建枠)足場	19層



資料ご提供：
鉄建建設(株)大阪支店
近大姫路作業所様
2014年

I q システムの特徴②

最軽量(次世代足場)

架設作業負担を軽減し、施工性(歩掛り)が向上

支柱に軽量高張力鋼管(φ48.6mm・厚2.0mm)を使用。

	枠組足場(φ10巾)	他社品A	他社品B	I q システム
外径	φ42.7mm	φ48.6mm	φ42.7mm	φ48.6mm
支柱(最長)	1700mm	3600mm	3600mm	3800mm
重量	15.1kg + 1.2kg	12.6kg	11.1kg	11.7kg
重量/m		3.500kg/m	3.083kg/m	3.079kg/m
■ 同じ階層・スパンを架設した際 (914巾、先行手すり枠・手すり設置、幅木なし、布板同条件)				
架設総重量 (16層50スパン)	44,453kg (2,448㎡)	45,211kg (2,592㎡)	43,574kg (2,592㎡)	44,635kg (2,736㎡)
架設重量効率	18.2kg/㎡	17.4kg/㎡	16.8kg/㎡	16.3kg/㎡



低層くさび足場(弊社従来品3800mm)
に比べて **2 kgの重量低減**



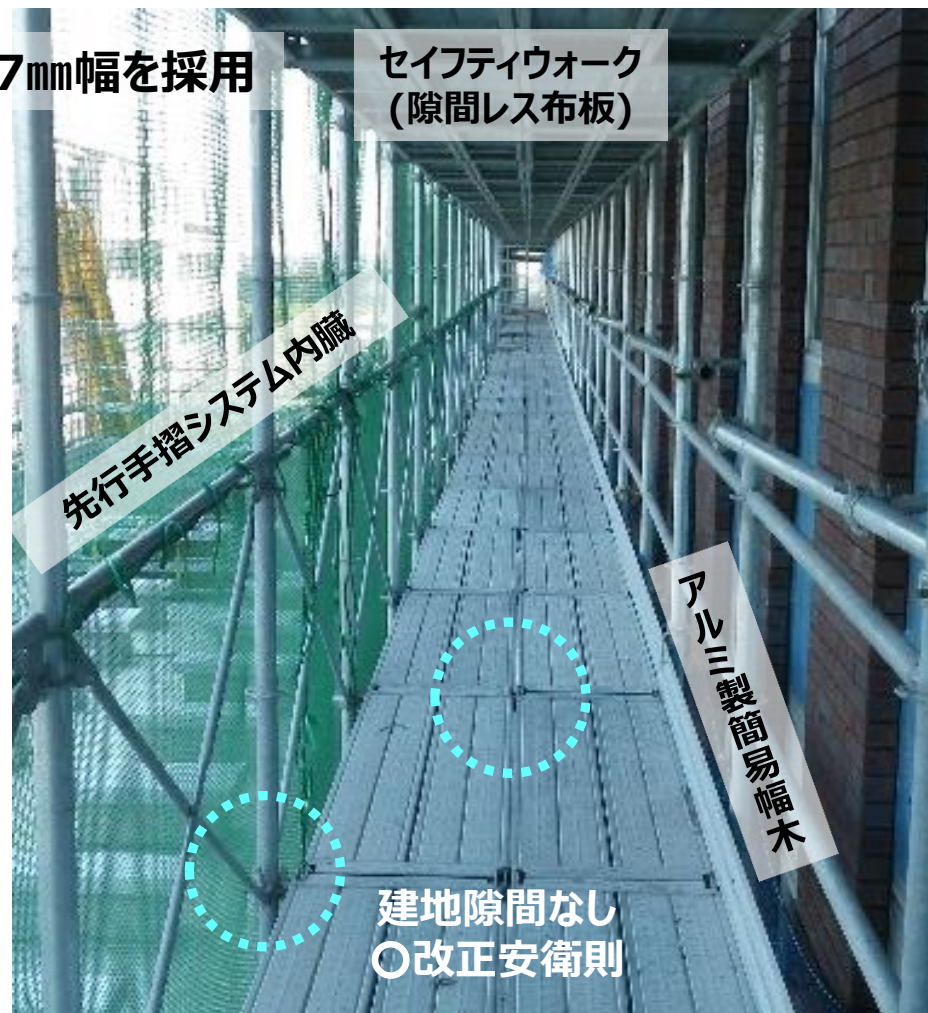
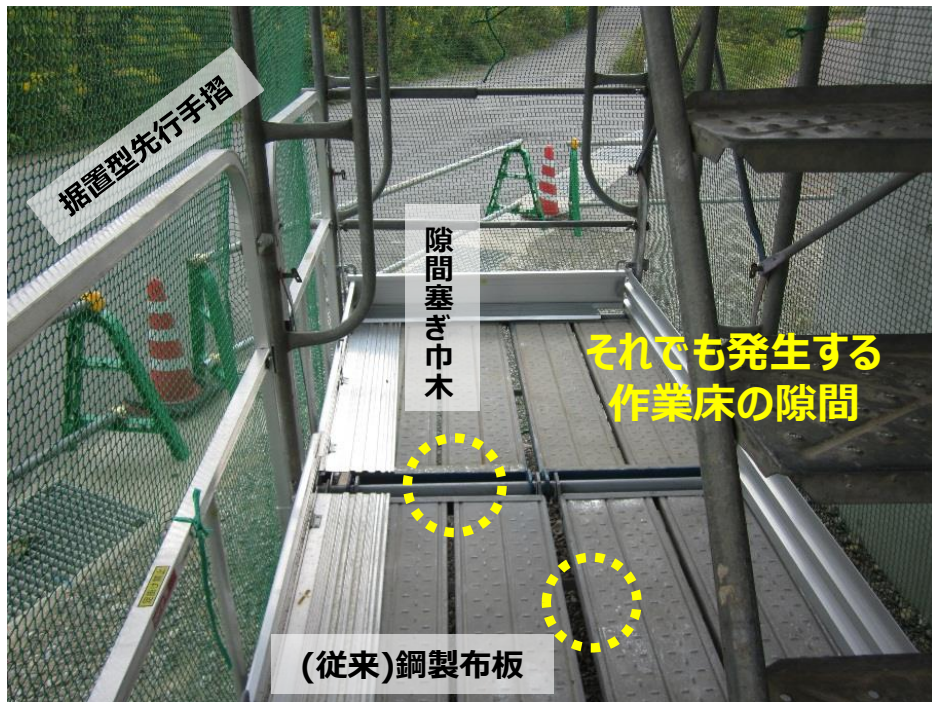
I q システムの特徴③

隙間レス

追加施策なしで安全な作業床を実現

専用隙間レス布板に合せた、1107mm幅を採用

セイフティウォーク
(隙間レス布板)



I q システムの特徴④

強いクサビ緊結性

補強材(アームロック、パイプ等)なしで
大組吊り架設(大払い)が可能。



I q システムの特徴⑤

収納性向上

保管面積47%減、運搬費24%減

枠組足場



Iqシステム



面積
47%減
(枠組比)

914巾
架設10,000㎡分

部材点数	27点
総重量	178 t
保管面積	290㎡

建枠900 S J スジカイ(3) 手すり(3) エンドストッパー ジャッキベース 壁つなぎ	支柱3800 手すり(2) パイプジャッキ 壁つなぎ
先行手すり枠(3)	先行手すり(2)
布板(4) 補助布板(4) すき間ステップ(2)	布板(2) 補助布板(2)
カイダン 階段手すり セイフティガード	カイダン 階段手すり セイフティガード

部材点数	14点
総重量	159 t
保管面積	154㎡



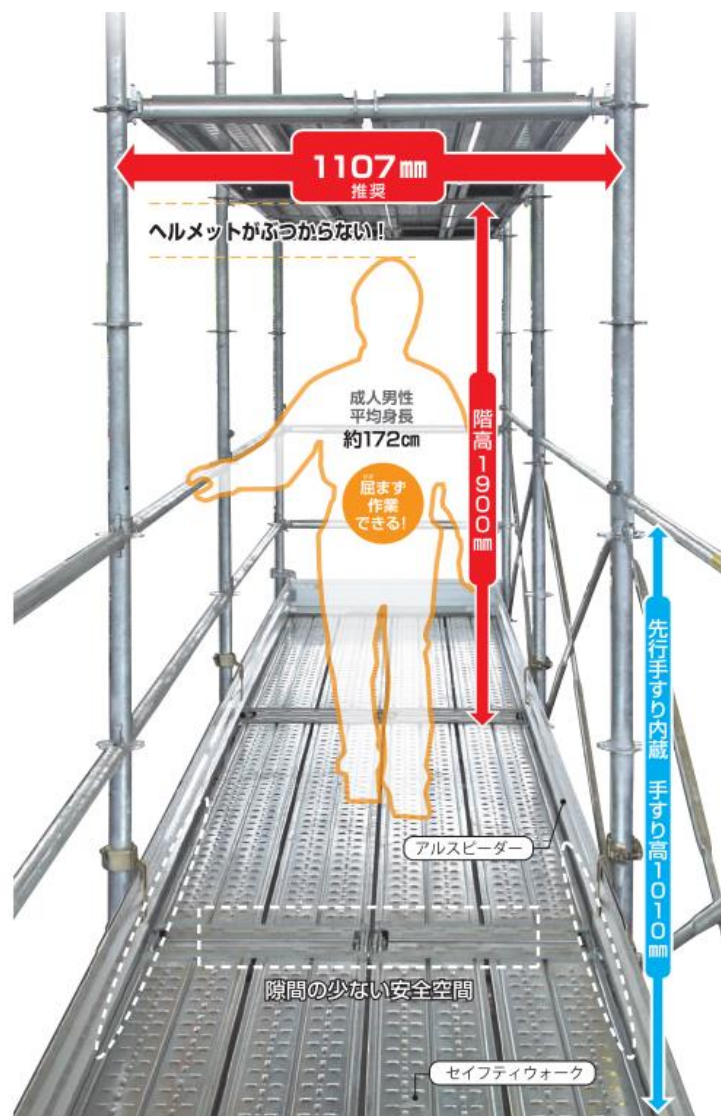
往復
42台
/15 tトラック



往復
32台
/15 tトラック

運送
24%減
(枠組比)

I q システムの特徴 まとめ



- ① 改正安衛則“推奨足場”最も準拠した足場
先行手摺、建地隙間、巾木高、先行手摺1,000mm以上
- ② 階高1,900mm
屈まず、頭をぶつけない快適な作業空間
階層減も実現
- ③ 最軽量
軽量化で架設解体作業性負担が軽減
- ④ 床面が隙間レス
追加施策なしで安全な作業床を実現
- ⑤ 強いクサビ緊結性
補強材なしで大組吊り架設(大払い)が可能
- ⑥ 収納性向上
保管面積47%減、運搬費24%減



仮設機材の製造・販売・レンタル

SRG Takamiya
SUPER RENTAL GROUP

エスアールジータカミヤ株式会社

弊社は2019年4月に株式会社タカミヤに社名変更致します